



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7446 URL <http://www.t-kagaku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理グループ経理部長 (氏名) 小寺 伸哉 (TEL) 0172-33-8131  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績 (平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	21,787	△2.6	93	△58.5	118	△52.1	63	△58.0
26年9月期第3四半期	22,359	11.0	226	106.8	248	105.8	151	100.1

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 286百万円(53.9%) 26年9月期第3四半期 186百万円(△16.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	13.49	—
26年9月期第3四半期	32.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第3四半期	13,532	4,743	35.0	1,008.85
26年9月期	13,614	4,535	33.3	965.31

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 4,740百万円 26年9月期 4,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想 (平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,900	4.2	325	23.4	345	18.8	190	29.7	40.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年9月期3Q	4,800,000株	26年9月期	4,800,000株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	101,075株	26年9月期	101,075株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年9月期3Q	4,698,925株	26年9月期3Q	4,699,003株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算単身の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和策などにより穏やかに回復基調で推移してまいりましたが、消費税増税や物価の上昇による個人消費の落ち込みや海外経済の下振れリスクなどにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

しかしながら、前年同四半期と比べ、売上高は、217億87百万円と5億72百万円(△2.6%)の減収、営業利益は、93百万円と1億32百万円(△58.5%)の減益、経常利益は、1億18百万円と1億29百万円(△52.1%)の減益、四半期純利益は、63百万円と87百万円(△58.0%)の減益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### (化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります電子部品産業をはじめとし、医薬品産業や素材産業を含む製造業が高稼働を維持したことにより前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、納期の遅れや大学等の残予算消化の遅れなどにより前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で98億10百万円と1億67百万円(1.7%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、8億80百万円と7百万円(0.8%)の増益となりました。

#### (臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、需要増や検体検査項目の新規採用による増加などにより前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、新規納入分が計画とおり進まなかったため前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で93億43百万円と6億75百万円(△6.7%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、8億27百万円と1億13百万円(△12.1%)の減益となりました。

#### (食品)

食品添加物は、円安による原料等の高騰や消費低迷の影響による生産調整などにより前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、22億41百万円と19百万円(△0.8%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、1億89百万円と6百万円(△3.4%)の減益となりました。

#### (その他)

その他は、消費税増税前の駆け込み需要の影響等により前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、3億91百万円と45百万円(△10.5%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、29百万円と7百万円(△19.4%)の減収となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、82百万円減少し、135億32百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億89百万円減少し、87億89百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億7百万円増加し、47億43百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

#### (資産)

資産の減少の主な原因は、投資有価証券が2億63百万円、現金及び預金が2億30百万円増加したものの受取手形及び売掛金が4億61百万円、リース投資資産が71百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

負債の減少の主な原因は、短期借入金が1億50百万円、長期借入金が51百万円、支払手形及び買掛金が43百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産の増加の主な原因は、その他投資有価証券評価差額金が2億19百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第3四半期までの業績動向を踏まえ、平成26年11月14日に公表した平成27年9月期の通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が14,821千円増加し、利益剰余金が9,574千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	961,827	1,192,091
受取手形及び売掛金	6,816,204	6,355,130
商品	868,267	852,881
繰延税金資産	33,207	13,961
その他	303,970	350,055
貸倒引当金	△3,606	△2,098
流動資産合計	8,979,871	8,762,021
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	451,396	427,680
土地	1,650,849	1,604,835
リース資産(純額)	97,477	137,453
その他(純額)	285,574	286,991
有形固定資産合計	2,485,298	2,456,961
無形固定資産		
のれん	97,344	73,008
その他	15,142	14,850
無形固定資産合計	112,486	87,858
投資その他の資産		
投資有価証券	1,009,169	1,272,264
リース投資資産	198,050	126,088
その他	870,013	864,995
貸倒引当金	△40,510	△37,827
投資その他の資産合計	2,036,722	2,225,521
固定資産合計	4,634,507	4,770,342
資産合計	13,614,379	13,532,363
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,144,723	7,101,525
短期借入金	430,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	68,760	68,760
リース債務	142,934	150,521
未払法人税等	94,168	5,956
賞与引当金	62,695	15,000
その他	191,093	223,589
流動負債合計	8,134,374	7,845,353
固定負債		
長期借入金	258,420	206,850
リース債務	266,036	225,258
繰延税金負債	141,891	219,200
退職給付に係る負債	88,484	99,296
役員退職慰労引当金	153,849	160,588
その他	35,427	32,518
固定負債合計	944,108	943,712
負債合計	9,078,483	8,789,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,605,010	2,588,353
自己株式	△46,313	△46,313
株主資本合計	4,260,196	4,243,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,775	518,009
退職給付に係る調整累計額	△23,076	△21,020
その他の包括利益累計額合計	275,699	496,988
少数株主持分	—	2,769
純資産合計	4,535,896	4,743,298
負債純資産合計	13,614,379	13,532,363

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	22,359,961	21,787,083
売上原価	20,313,439	19,860,220
売上総利益	2,046,521	1,926,862
販売費及び一般管理費	1,820,329	1,833,076
営業利益	226,192	93,786
営業外収益		
受取利息	3,521	2,985
受取配当金	10,953	12,313
受取手数料	7,149	7,291
保険解約益	—	4,072
その他	8,921	6,762
営業外収益合計	30,546	33,425
営業外費用		
支払利息	7,006	6,504
持分法による投資損失	—	832
その他	1,650	1,038
営業外費用合計	8,656	8,375
経常利益	248,082	118,835
特別利益		
固定資産売却益	313	20,945
投資事業組合運用益	28,494	13,425
受取和解金	4,477	—
特別利益合計	33,285	34,371
特別損失		
固定資産除却損	1,113	82
投資有価証券評価損	—	1,950
会員権評価損	1,375	—
リース解約損	4,281	123
特別損失合計	6,769	2,156
税金等調整前四半期純利益	274,598	151,050
法人税、住民税及び事業税	106,188	60,956
法人税等調整額	16,831	25,118
法人税等合計	123,019	86,075
少数株主損益調整前四半期純利益	151,578	64,975
少数株主利益	564	1,573
四半期純利益	151,013	63,401

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,578	64,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,450	219,233
退職給付に係る調整額	—	2,055
その他の包括利益合計	34,450	221,289
四半期包括利益	186,028	286,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,189	283,495
少数株主に係る四半期包括利益	839	2,769

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,642,319	10,019,409	2,260,455	437,777	22,359,961	—	22,359,961
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,642,319	10,019,409	2,260,455	437,777	22,359,961	—	22,359,961
セグメント利益	872,821	940,813	196,314	36,571	2,046,521	—	2,046,521

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,810,153	9,343,766	2,241,318	391,844	21,787,083	—	21,787,083
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,810,153	9,343,766	2,241,318	391,844	21,787,083	—	21,787,083
セグメント利益	880,159	827,485	189,735	29,481	1,926,862	—	1,926,862

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。